

2026 年 9 月 8 日

各位

会社名 SBI グローバルアセットマネジメント株式会社

(コード番号 4765)

(上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)

代表者 代表取締役社長 朝倉 智也

開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

世界の金鉱株の成長機会を捉える

『SBI フランクリン・テンプルトン金鉱株式ファンド』設定

当社子会社のSBIアセットマネジメント株式会社は、世界の金鉱関連企業の株式に実質的に投資する公募投資信託『SBI フランクリン・テンプルトン金鉱株式ファンド』（愛称：ゴールド・フロンティア、以下「本ファンド」）を2026年10月8日（木）に設定し、運用を開始いたします。運用にあたっては、SBIグループとフランクリン・テンプルトンの合併会社であるSBI フランクリン・テンプルトン株式会社の投資助言を受けます。本ファンドは、同社が投資助言を行う第1号ファンドです。

ファンド名	SBI フランクリン・テンプルトン金鉱株式ファンド (愛称：ゴールド・フロンティア)
投資対象資産／地域	株式／内外
実質的な負担（年率・税込）	年 1.817%程度
決算日	原則として、毎年10月7日（休業日の場合は翌営業日）
NISA対応	「成長投資枠」対象（予定）
当初申込期間	2026年9月24日（木）～2026年10月7日（水）（予定）
設定・運用開始日	2026年10月8日（木）（予定）

本ファンドは、主要投資対象ファンド※1への投資を通じて、主に世界の金鉱関連企業の株式に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざします。

金への投資から得られる収益は、現物であれば価格の値上がり益に限られます。これに対し金鉱企業の株式には、収益の源泉が複数あります。金価格の上昇は売上の増加を通じて企業の利益を押し上げる要因となり、これに加えて、新たな鉱山の発見・開発、生産の開始・拡大、埋蔵量の増加、企業の合併・買収（M&A）といった企業固有の要因が企業価値を高めます。さらに、金鉱企業は事業会社であるため、企業の利益成長や配当という、金の現物にはない収益機会があります。

主要投資対象ファンドを運用するフランクリン・テンプルトンは、1969年の運用開始以来、50年以上にわたり一貫した投資哲学のもとで金・貴金属株式の運用を続けてきました※2。ポートフォリオ運用チームは、天然資源分野の専門リサーチ・チームのサポートを受け、埋蔵量、採掘コスト、鉱山の質、経営の質などを個別に分析し、現地視察や経営陣との面談を経て投資判断を行います。安定した生産基盤を持つ大型企業に加え、成長が期待される中小型の探鉱・開発段階の企業まで幅広く投資を行います。

今後も「顧客中心主義」のもと、良質な運用商品を提供するとともに、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

※1 ルクセンブルク籍投資法人「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン・ゴールド・アンド・プレシヤス・メタルズ・ファンド クラス I (acc) 米ドル建て」

※2 主要投資対象ファンドは、1969年に米国で設定された同名のファンド（米国籍）と同一の運用チーム・運用哲学のもと、2010年にルクセンブルクで設定されたものです。適用法制の違いにより費用等の一部条件は異なりますが、運用の考え方は共通です。運用実績の期間は両ファンドで異なります。

****【本件に関するお問い合わせ先】****
SBI グローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話:03(6229)0812 メールアドレス: sbigam@sbiglobalam.co.jp
SBI アセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170
(金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号、加入協会：一般社団法人資産運用業協会)

【ご参考】

■ 『SBIフランクリン・templton金鉱株式ファンド（愛称：ゴールド・フロンティア）』の特色

① 金価格＋企業成長＋配当を追求 金価格上昇の恩恵に加え、鉱山開発、生産拡大、M&A、利益成長や配当による収益機会を追求します。
② 大型株から中小型株まで幅広く投資 大型企業に加え、中小規模の探鉱・開発企業にも投資対象を広げた運用を行います。
③ 他資産との低い相関性で収益源泉を分散 株式や債券など主要資産との相対的に低い相関を活用し、ポートフォリオに新たな収益源泉を追加します。
④ 50年以上の一貫した運用体制と投資哲学 運用体制がほぼ変わらない一貫した投資哲学のもと、企業の価値創造を捉える運用を行います。

■ ファンドの仕組みと投資対象

- ・ 本ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。主要投資対象ファンドへの投資を通じて、主に、世界の金鉱関連企業が発行する株式及び株式関連証券に投資します。
- ・ 金鉱関連企業には、金の採掘、加工または取引を行う企業のほか、探鉱会社および鉱山を保有・運営する企業が含まれます。なお、主要投資対象ファンドは、金以外に銀、プラチナ、パラジウム等の貴金属関連事業を行う企業にも投資する場合があります。
- ・ 国内籍親投資信託「SBIマネープールマザーファンド」にも投資します。
- ・ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ・ 主要投資対象とする外国投資信託の運用はフランクリン・templtonが行います。

■ 主要投資対象ファンドの概要（2026年6月末現在）

ファンド名	フランクリン・templton・インベストメント・ファンズ・フランクリン・ゴールド・アンド・プレシャス・メタルズ・ファンド クラス I（acc）米ドル建て （ルクセンブルク籍投資法人）
基準通貨	米ドル
設定日	2010年4月30日
参考指数	FTSE ゴールド・マインズ・インデックス（当該指数に連動する運用を行うものではありません）
純資産総額	17.4億米ドル（約2,830億円、2026年6月末時点、1米ドル＝162.62円にて換算）
組入発行体数	171銘柄

■ フランクリン・templtonについて

米国カリフォルニア州サンマテオに本部を置く独立系の資産運用会社グループです。世界中の主要な金融市場にオフィスを構え、複数の資産クラスにおいて数多くの投資プロフェッショナルと約269兆円※3（約1.7兆米ドル）の運用資産残高を有しています。世界中の個人投資家や機関投資家の皆様に多種多様な運用商品と質の高いサービスを提供しています。

※3 2026年3月末時点、1米ドル＝159.88円にて換算

■ 投資助言会社：SBIフランクリン・templton株式会社

（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3532号、加入協会：一般社団法人資産運用業協会）

SBIグループの革新性と米国フランクリン・templton・グループのグローバルな運用知見を活かし、日本における資産運用業の活性化に貢献することを目的として、2025年7月に設立されました。フランクリン・templtonが運用するファンドの事前調査、投資資産の分析およびモニタリング、運用判断材料の継続的な提供などを通じて、多様な投資機会の提供を目指しています。